

## 市長発言要旨

### 【発表事項】

#### 1 米沢市政策アドバイザーの委嘱について

本日付で3名の方に米沢市政策アドバイザーを委嘱しましたので、お知らせします。

米沢市政策アドバイザーは、市政に関する高度な政策事項や専門的事項の推進を図ることを目的に委嘱するものであり、特に本市では、今年度から2か年をかけて市の最上位計画である総合計画を策定しますので、この総合計画への助言をはじめとして、市政全般に対するご助言をいただきたいと考えています。

なお、委嘱の期間は、本日7月8日から令和8年3月31日までです。

それぞれの経歴等については、資料のとおりですが、簡単に御説明いたします。

はじめに 今田 恒夫（こんた つねお）様です。

今田様は、米沢興譲館高等学校のご卒業で、現在は、山形大学において、公衆衛生学などの教鞭を執っていらっしゃいます。県内で健診受診者を対象とした研究をされることで、生活習慣病診療の進歩に貢献されています。

今田様からは、本市における、医師確保や健康長寿の取組などにおいてご助言をいただきたいと考えています。

次に 斎藤 保（さいとう たもつ）様です。斎藤様は、山形県のご出身で、日本を代表する企業である株式会社 IHI の社長、会長を歴任され、現在は同社の特別顧問をされています。また、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の理事長の職にも就かれているほか、様々な企業の社外取締役を務めていらっしゃいます。

斎藤様からは、産学官連携など産業施策全般に関することにご助言をいただきたいと考えています。

最後に 渡邊 昇治（わたなべ しょうじ）様です。渡邊様は、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局統括官を務めていらっしゃいます。

渡邊様は、通産省に入省後、情報政策課長や大臣官房審議官などを歴任され、2023年7月から現職でいらっしゃいます。

現在は、イノベーションに関すること、デジタルとりわけ AI に関する御担当もされており、そうした知見も豊富でいらっしゃることから DX 分野等に関することやこれまでの様々なご経験を生かしながらまちづくり全般についてご助言をいただきたいと考えています。

#### 2 「最上川源流よねざわ紅花まつり 2024」開催について

「最上川源流よねざわ紅花まつり 2024」について、お知らせします。

本市では『最上川流域の紅花システム 歴史と伝統がつなぐ山形の「最上紅花」』の世界農業遺産認定に向けて、令和4年度から「最上川源流よねざわ紅花プロジェクト推進協議会」を設立し、生産から加工、販売、観光、教育など、さまざまなプロジェクトを一体的に取り組んでいるところですが、このプロジェクトの一つとして、市民や県内外の皆様に、紅花の歴史と魅力を幅広く発信するために行っている、「最上川源流よねざわ紅花まつり 2024」を今年も開催します。

お手元の資料をご覧ください。

紅花が咲き誇る7/1～30の1か月の祭り期間中には、紅花摘み体験や紅花染め体験ができるほか、昨年に引き続き米沢繊維協議会様による「米沢織きものグランプリ」や(株)新田様による「べにばなSAI(さい)」も開催されます。

メインとなる「最上川源流よねざわ紅花まつり」は、7/20(土)10時から、山上コミュニティーセンター及び周辺を会場に開催します。

今年は、高校生による紅花の探究活動を紹介するブースが、2校から4校に増え、米沢商業高校、米沢興譲館高校、置賜農業高校、九里学園高校の生徒に活動の紹介をしていただけるほか、前年度行った、「紅花スイーツコンテスト」の入賞作品の販売や、試食ブースも新たに加わります。

また、紅花畑エリアには、映画「好きでも嫌いなあまのじゃく」のフォトスポットも設置し、紅花や新幹線も含めた撮影も楽しんでいただく予定です。

他にも、これまでと同様に、山形大学花笠サークル「四面楚歌(しめんそか)」や「愛の武将隊」などによるステージイベントを開催するほか、キッチンカーも多数出店します。

このように今年の紅花まつりも、市内外の方々に米沢の紅花の魅力を存分に楽しんでいただける、拡充した内容で開催しますので、ぜひ皆さんのお越しをお待ちしております。

なお、7/11(木)米沢産紅花を持って県庁に伺い、吉村知事に「よねざわ紅花プロジェクト」及び「最上川源流よねざわ紅花まつり2024」について紹介してきます。